

## 県政世論調査（これからの環境保全の方向性について）の結果について

愛知県では、県民生活に関わりの深い県政の各分野について、県民の関心や意向、要望等を把握し、今後の県政運営の基礎資料とするために県政世論調査を実施しています。

平成29年度は、第4次環境基本計画（計画期間：平成26年度～平成32年度）の中間年度であることから、県民の環境意識の変化等を把握するため、「これからの環境保全の方向性について」調査を実施しました。

なお、調査結果の詳細は、愛知県のウェブページ（※）及び各県民・相談情報センター等で閲覧できます。

※ <http://www.pref.aichi.jp/soshiki/koho/0000000110.html>

### 1 調査対象及び回答者数等

調査対象	愛知県内に居住する18歳以上の男女	3,000人
抽出・調査方法	層化二段無作為抽出法・郵送法	
調査期間	平成29年11月1日から11月20日まで	
回答者数	1,410人（回収率	47.0%）

### 2 回答項目

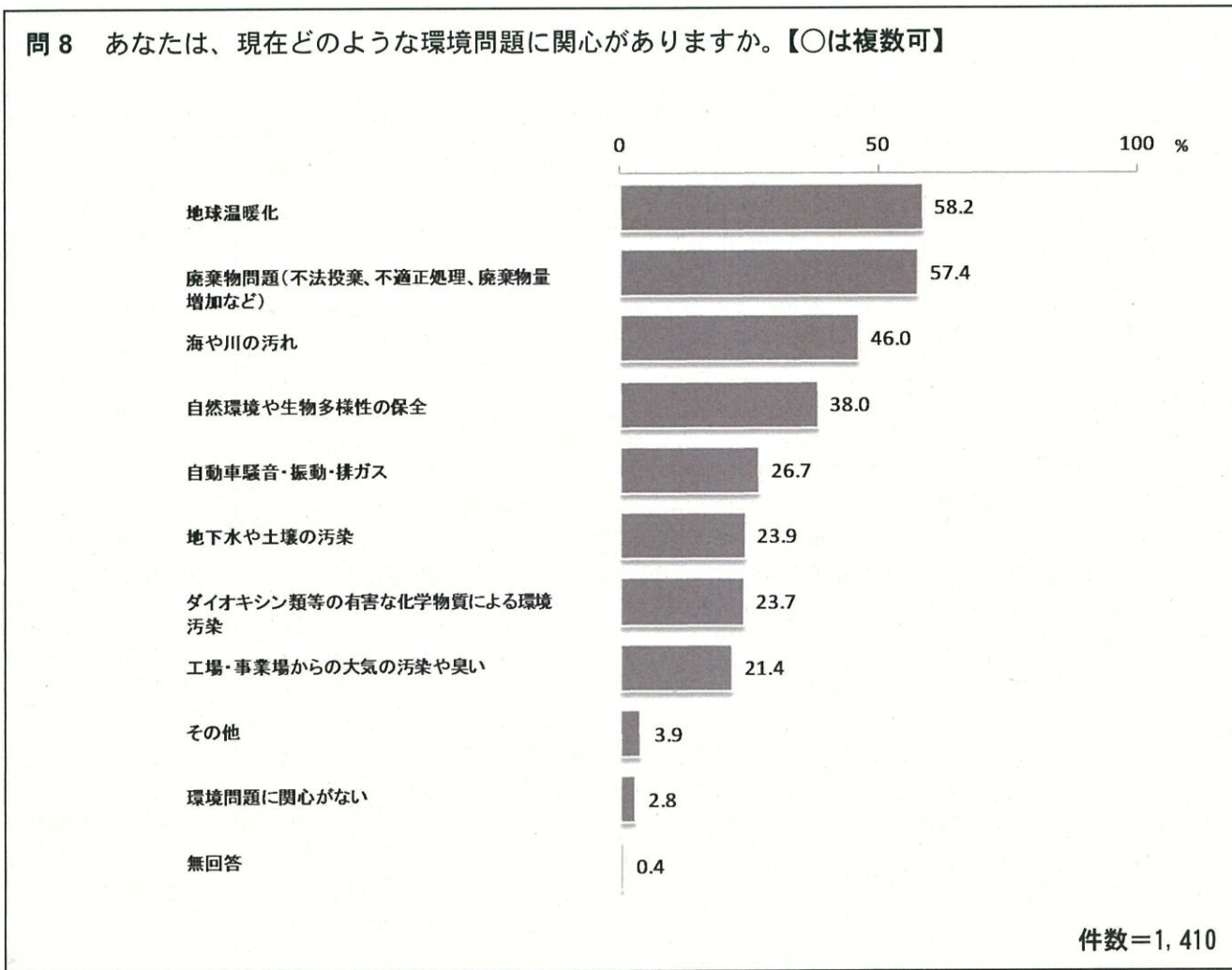
- （1）現在、関心のある環境問題
- （2）環境問題に関心を持つようになったきっかけ
- （3）将来の世代に良好な環境を引き継ぐために県が最も取り組むべき課題
- （4）将来の世代に良好な環境を引き継ぐために県が力を入れるべき施策
- （5）日常生活で行っている環境にやさしい行動
- （6）環境にやさしい行動が県民に広がるために県が力を入れるべき施策

### 3 調査結果

#### (1) 現在、関心のある環境問題

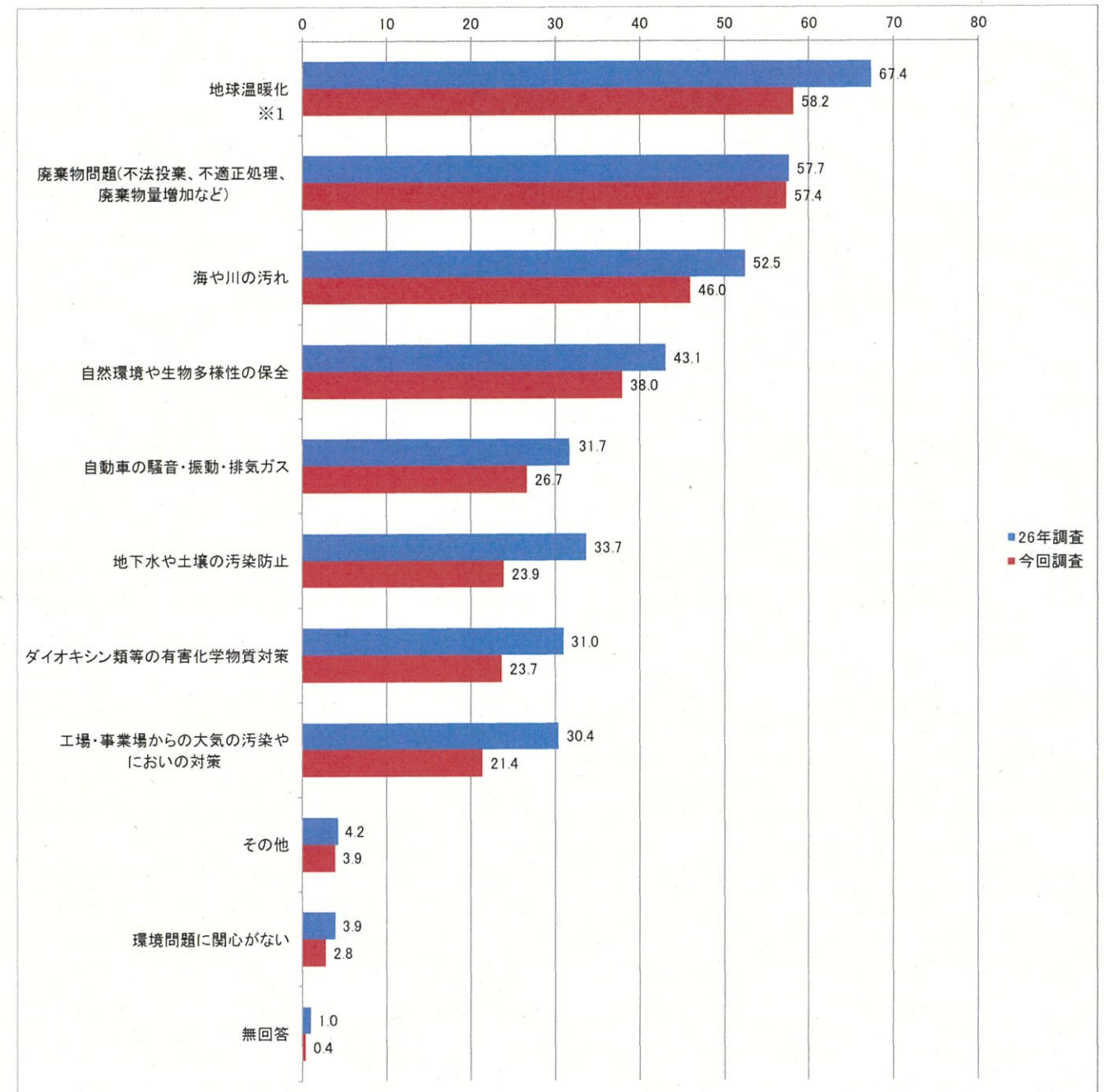
「地球温暖化」が 58.2%

「廃棄物問題（不法投棄、不適正処理、廃棄物量増加など）」が 57.4%



現在、関心のある環境問題について、「地球温暖化」と答えた人の割合が 58.2%と最も高く、続いて「廃棄物問題（不法投棄、不適正処理、廃棄物量増加など）」(57.4%)、「海や川の汚れ」(46.0%)の順になっている。

#### 過去の調査結果との比較



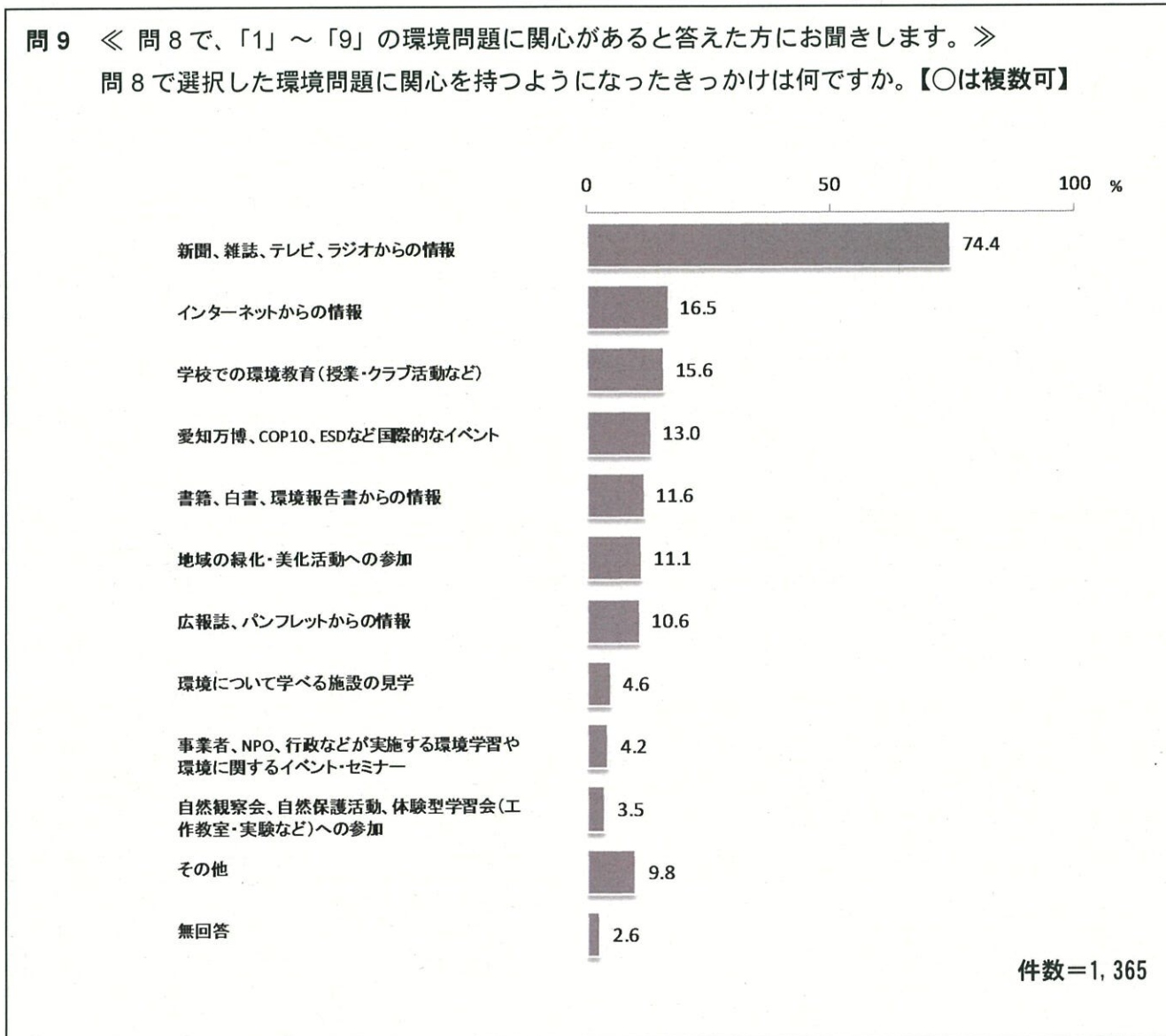
#### 上位5位までの項目の比較

	1位	2位	3位	4位	5位
26年調査	地球温暖化	廃棄物	水質環境	自然環境	自動車環境
今回調査	地球温暖化	廃棄物	水質環境	自然環境	自動車環境

※1 平成26年調査では「地球温暖化や省エネルギーなど地球環境に関すること」となっている。

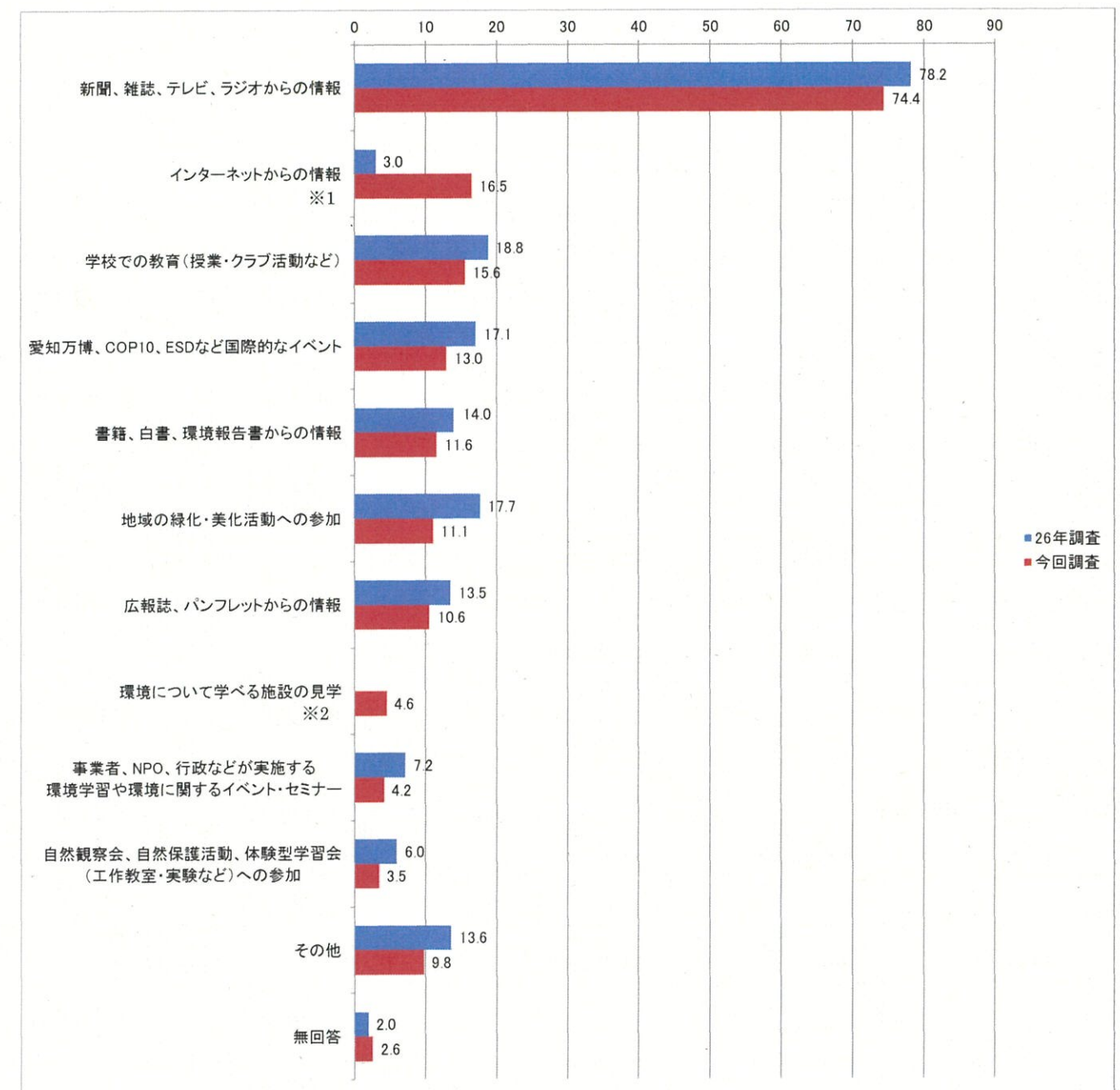
(2) 環境問題に関心を持つようになったきっかけ

「新聞、雑誌、テレビ、ラジオからの情報」が74.4%



環境問題に関心を持つようになったきっかけについて、「新聞、雑誌、テレビ、ラジオからの情報」と答えた人の割合が74.4%と最も高く、続いて「インターネットからの情報」(16.5%)、「学校での環境教育(授業・クラブ活動など)」(15.6%)の順になっている。

過去の調査結果との比較

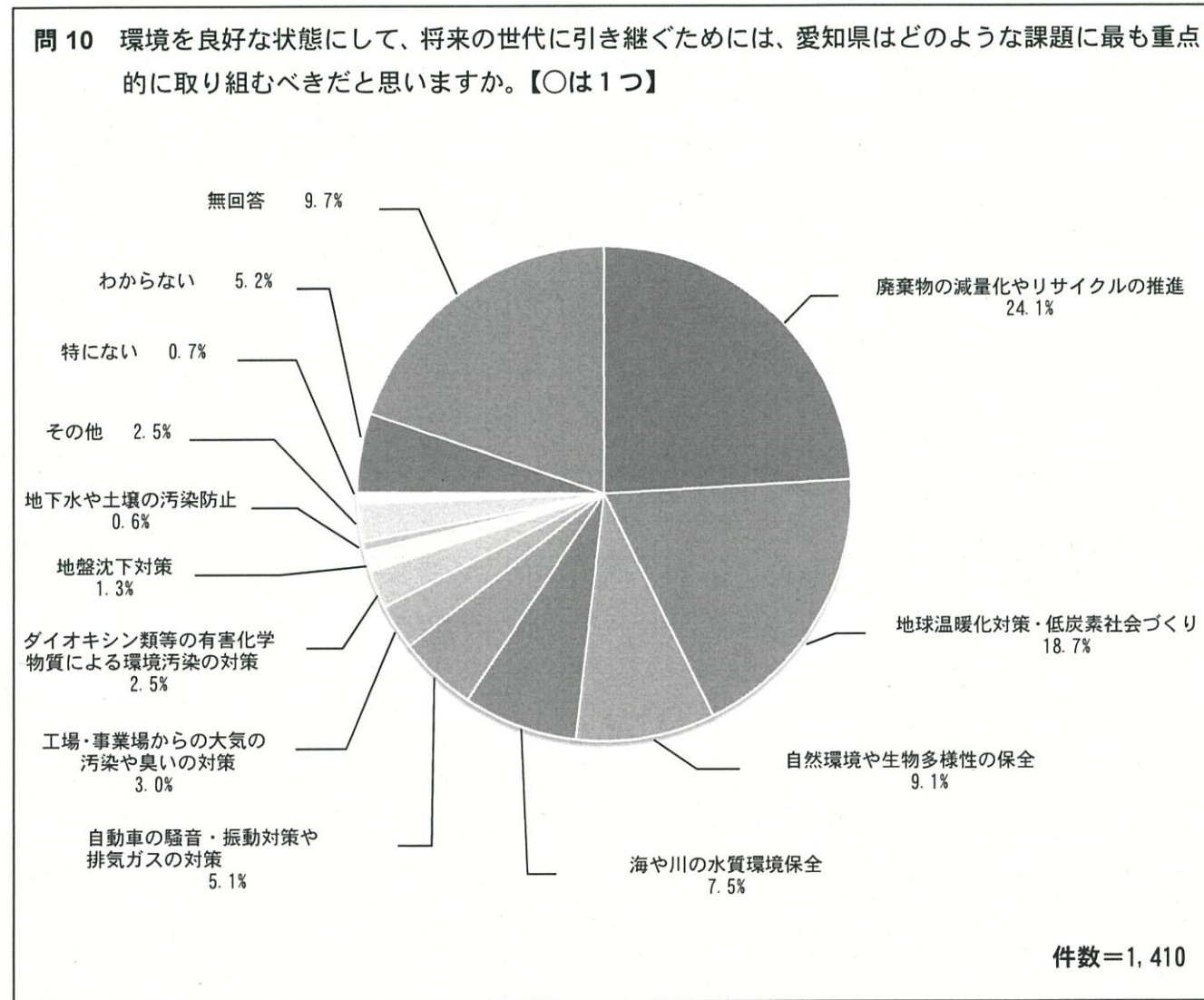


上位5位までの項目の比較

	1位	2位	3位	4位	5位
26年調査	新聞、テレビ等	学校教育	地域活動	国際イベント	書籍
今回調査	新聞、テレビ等	インターネット	学校教育	国際イベント	書籍

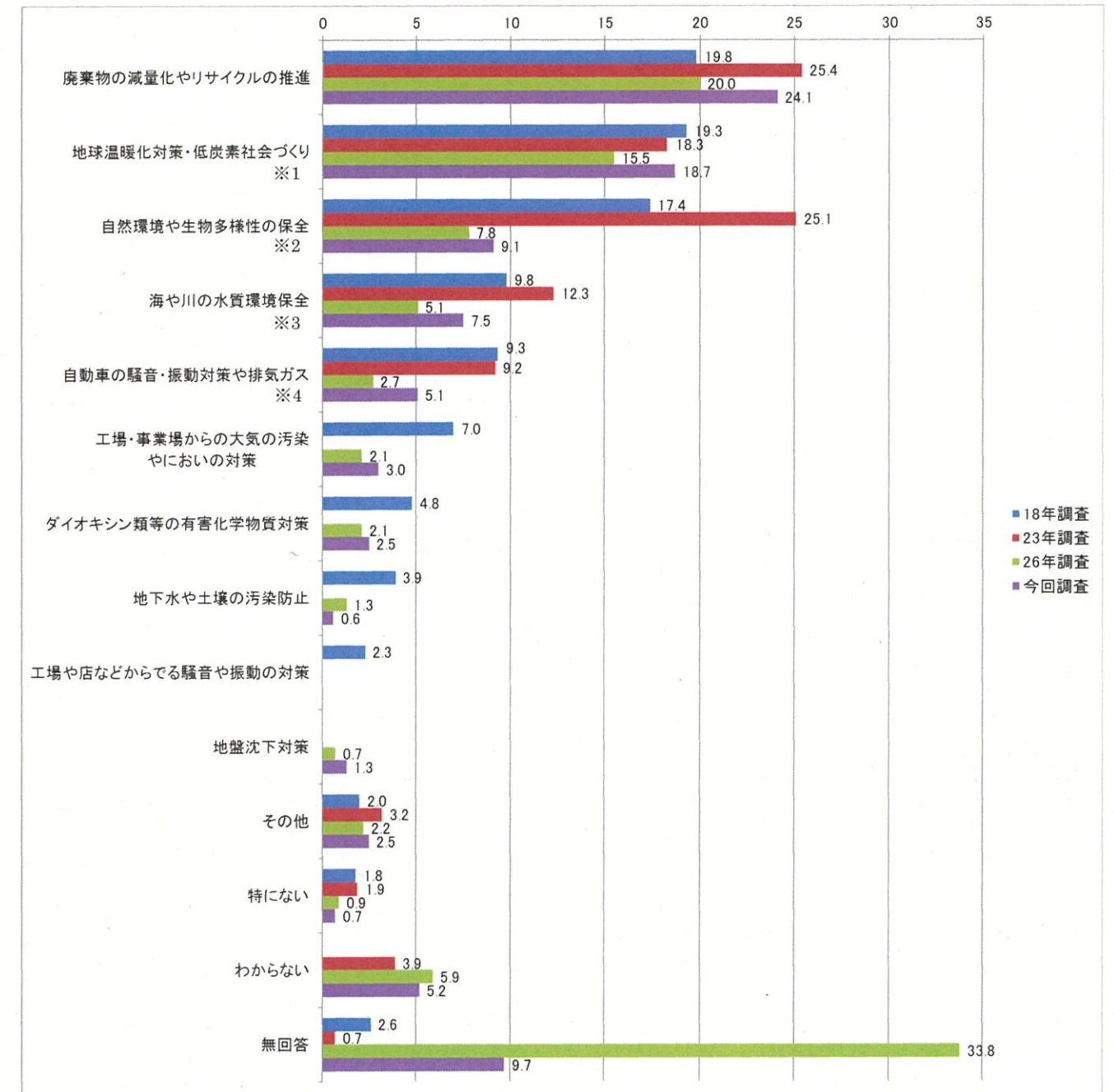
※1 平成26年調査では「環境に関するウェブページからの情報」となっている。  
※2 今回調査から追加した。

(3) 将来の世代に良好な環境を引き継ぐために県が最も取り組むべき課題  
「廃棄物の減量化やリサイクルの推進」が24.1%



将来の世代に良好な環境を引き継ぐために県が最も取り組むべき課題について、「廃棄物の減量化やリサイクルの推進」と答えた人の割合が24.1%と最も高く、続いて「地球温暖化対策・低炭素社会づくり」(18.7%)、「自然環境や生物多様性の保全」(9.1%)の順になっている。

過去の調査結果との比較



上位5位までの項目の比較

	1位	2位	3位	4位	5位
18年調査	廃棄物	地球温暖化	自然環境	水質環境	自動車環境
23年調査	廃棄物	自然環境	地球温暖化	水質環境	自動車環境
26年調査	廃棄物	地球温暖化	自然環境	水質環境	自動車環境
今回調査	廃棄物	地球温暖化	自然環境	水質環境	自動車環境

※1 平成18年調査では「地球温暖化対策（二酸化炭素の排出抑制など）」となっている。  
 ※2 平成18年調査では「身近な自然の保全」となっている。  
 ※3 平成18年調査及び平成23年調査では「海や河川などの水質保全」となっている。  
 ※4 平成18年調査では「自動車から発生する排気ガスや騒音、振動などの公害の対策」、平成23年度調査では「自動車や工場の排気ガスや騒音対策」となっている。

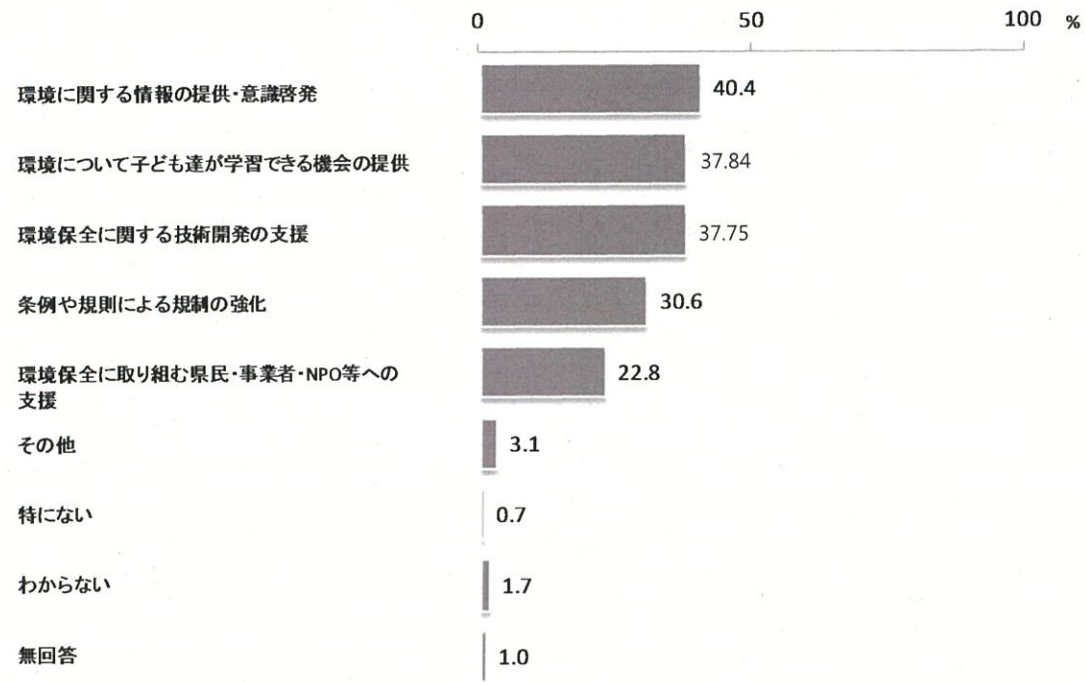
(4) 将来の世代に良好な環境を引き継ぐために県が力を入れるべき施策

「環境に関する情報の提供・意識啓発」が40.4%

問11 << 問10で、愛知県は、「1」～「10」のいずれかの課題に重点的に取り組むべきと答えた方にお聞きします。>>

問10で選択した課題の解決のため、愛知県はどのような施策に力を入れるべきだと思いますか。

【○は複数可】

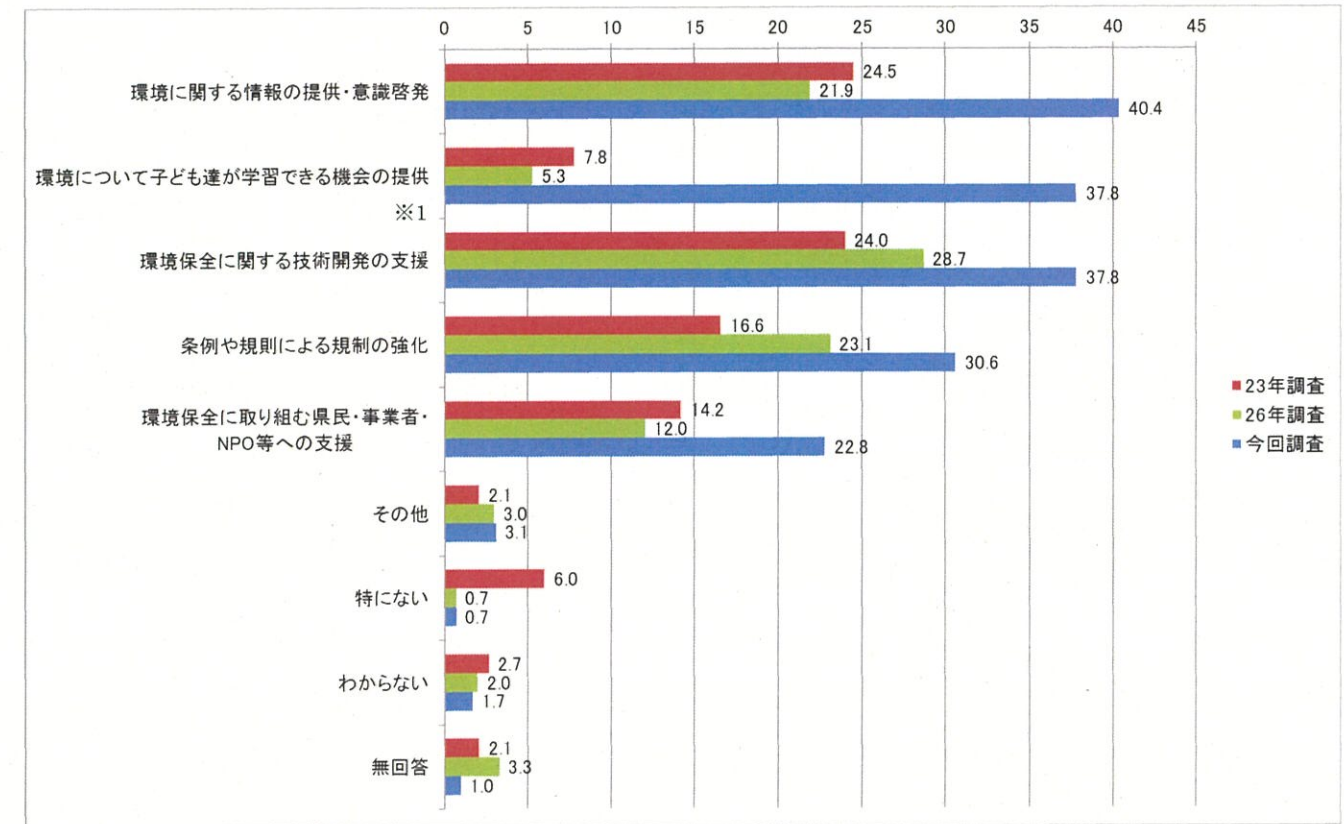


件数=1,049

将来の世代に良好な環境を引き継ぐために県が力を入れるべき施策について、「環境に関する情報の提供・意識啓発」と答えた人の割合が40.4%と最も高く、続いて「環境について子ども達が学習できる機会の提供」(37.84%)、「環境保全に関する技術開発の支援」(37.75%)の順になっている。

過去の調査結果との比較

平成23年、26年調査は単一回答であったが、今回調査は複数回答のため、単純比較はできない。



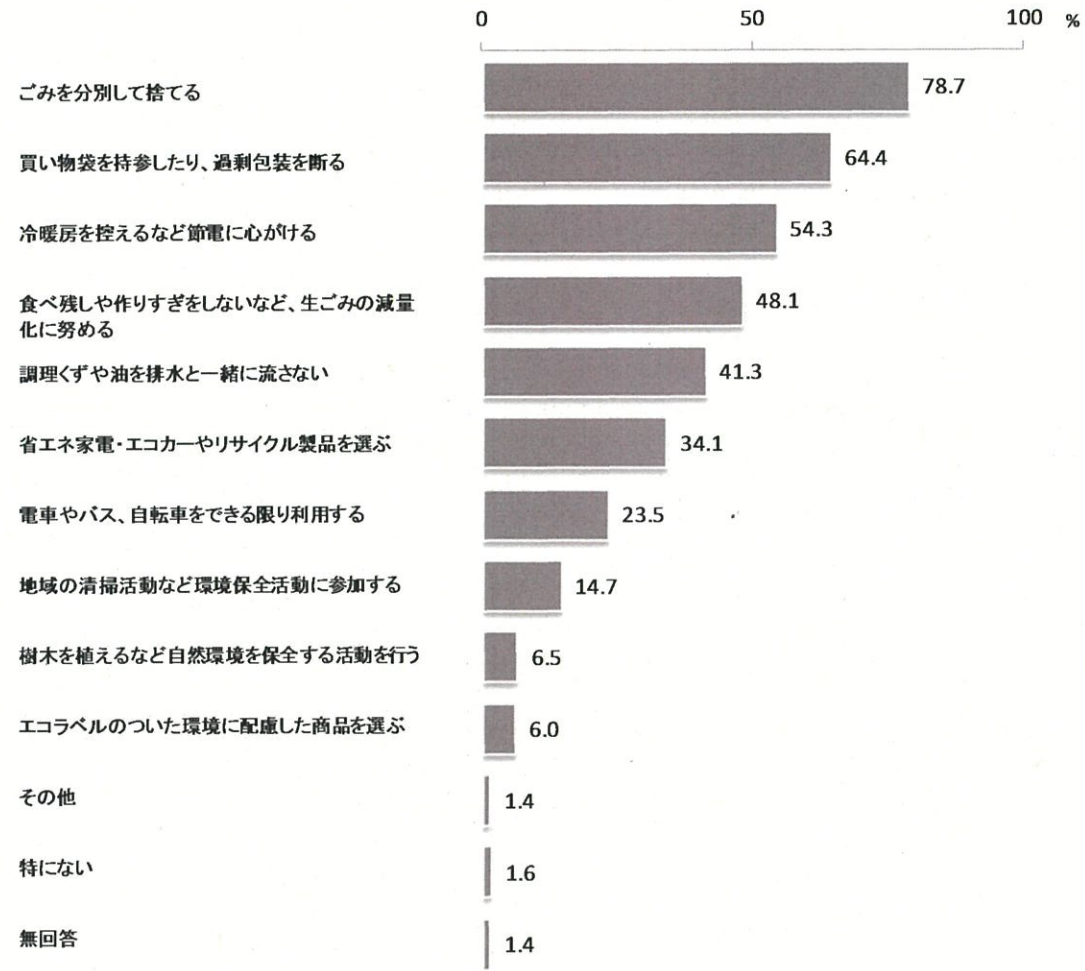
上位5位までの項目の比較

	1位	2位	3位	4位	5位
23年調査	情報提供・啓発	技術開発支援	規制強化	NPO等支援	学習機会提供
26年調査	技術開発支援	規制強化	情報提供・啓発	NPO等支援	学習機会提供
今回調査	情報提供・啓発	学習機会提供	技術開発支援	規制強化	NPO等支援

※1 平成23年調査及び平成26年調査では「環境について学習できる機会の提供」となっている。

(5) 日常生活で行っている環境にやさしい行動  
「ごみを分別して捨てる」が78.7%

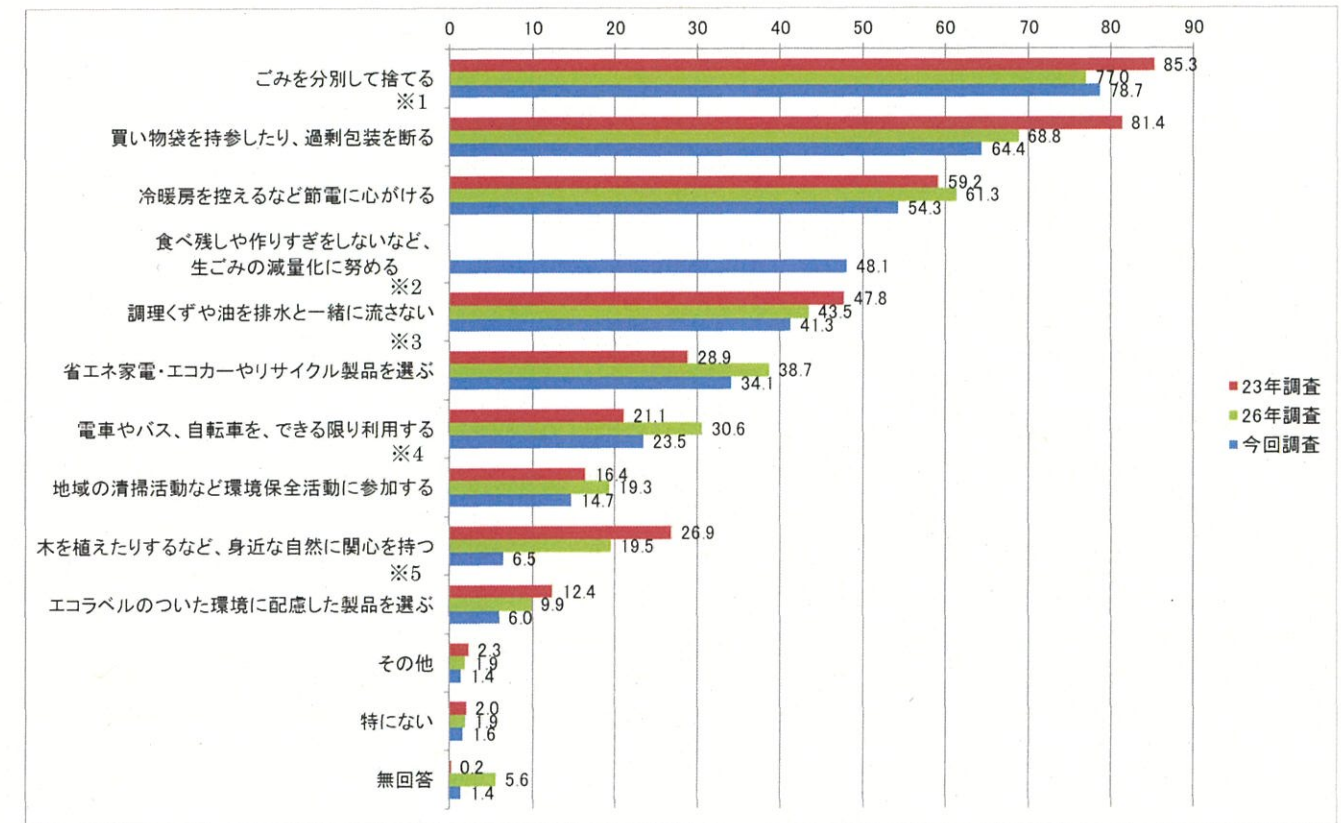
問12 環境問題の解決には、県民一人一人の行動が大切です。あなたが日常生活で行っている環境にやさしい行動はどれですか。【〇は複数可】



件数=1,410

日常生活で行っている環境にやさしい行動について、「ごみを分別して捨てる」と答えた人の割合が78.7%と最も高く、続いて「買い物袋を持参したり、過剰包装を断る」(64.4%)、「冷暖房を控えるなど節電に心がける」(54.3%)の順になっている。

過去の調査結果との比較



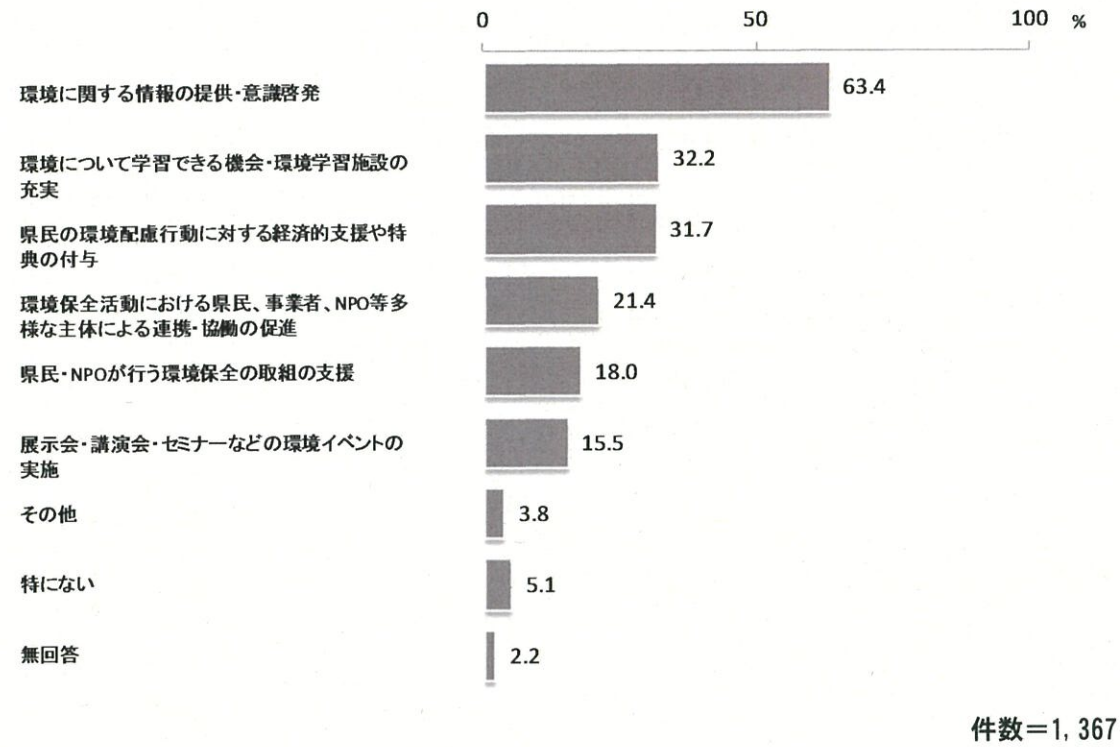
上位5位までの項目の比較

	1位	2位	3位	4位	5位
23年調査	ごみの分別	買い物袋持参	節電	生活排水対策	グリーン購入
26年調査	ごみの分別	買い物袋持参	節電	生活排水対策	グリーン購入
今回調査	ごみの分別	買い物袋持参	節電	食品ロス削減	生活排水対策

- ※1 平成23年調査では「ごみの分別」となっている。
- ※2 今回調査から追加した。
- ※3 平成23年調査では「調理くずや油を排水と一緒に流さないことなど生活排水に気をつける」となっている。
- ※4 平成23年調査では「自動車に頼りすぎず電車やバスを利用する」となっている。
- ※5 平成23年調査及び平成26年調査では「木を植えたりするなど、身近な自然に関心を持つ」となっている。

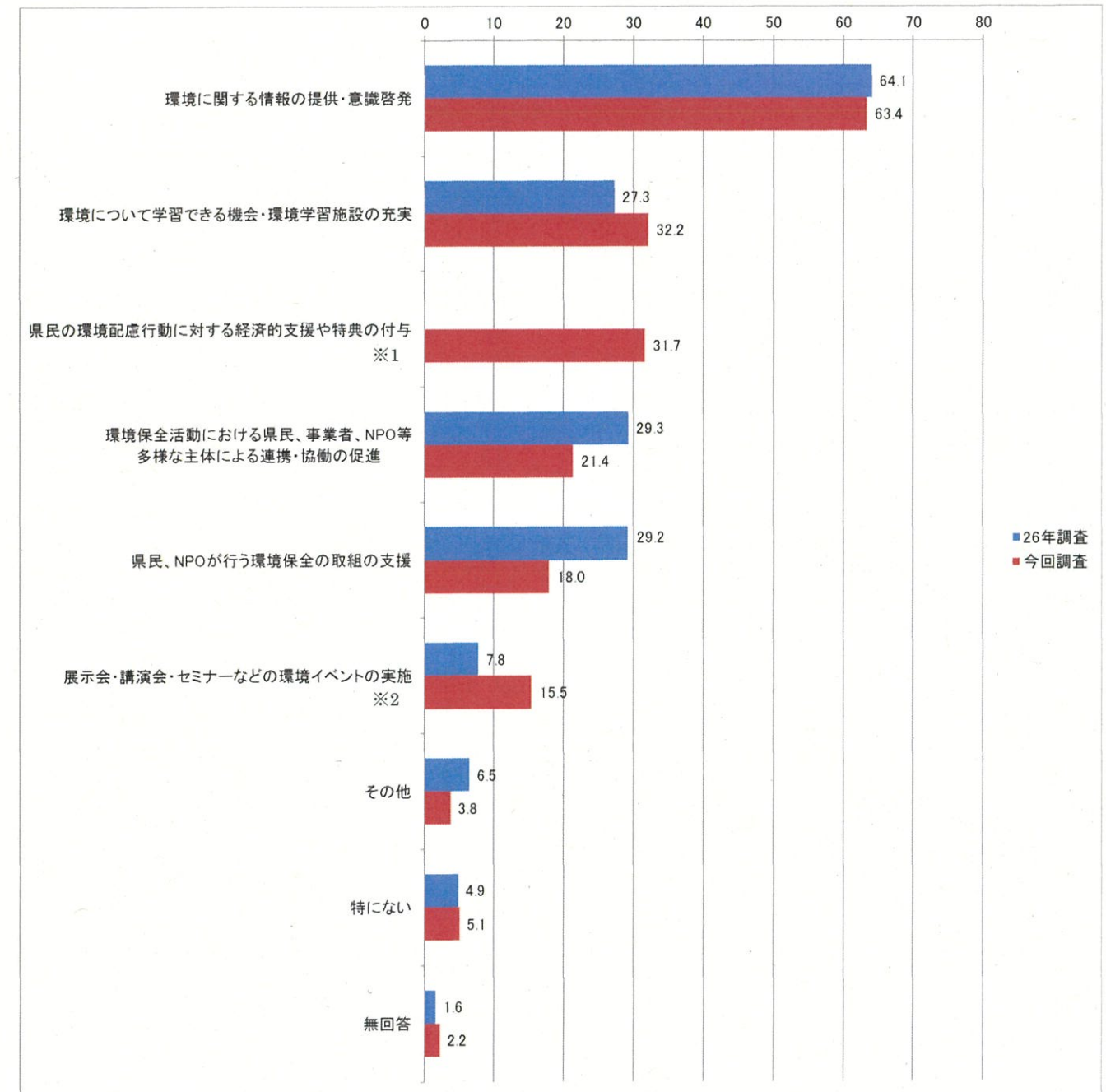
(6) 環境にやさしい行動を県民に浸透させるために県が力を入れるべき施策  
「環境に関する情報の提供・意識啓発」が63.4%

問 13 << 問 12 で、日常生活で、「1」～「11」の環境にやさしい行動を行っているとお答えの方にお聞きします。>>  
問 12 で選択した行動が県民の皆様には、愛知県はどのような施策に力を入れるべきだと思いますか。【〇は3つまで】



環境にやさしい行動が県民に広がるために県が力を入れるべき施策について、「環境に関する情報の提供・意識啓発」と答えた人の割合が63.4%と最も高く、続いて「環境について学習できる機会・環境学習施設の充実」(32.2%)、「県民の環境配慮行動に対する経済的支援や特典の付与」(31.7%)の順になっている。

過去の調査結果との比較



上位5位までの項目の比較

	1位	2位	3位	4位	5位
26年調査	情報提供・啓発	省エネ情報	連携・協働促進	NPO等支援	学習機会充実
今回調査	情報提供・啓発	学習機会充実	経済的支援	連携・協働促進	NPO等支援

※1 今回調査から追加した。

※2 平成26年調査では「展示会・講演会・セミナーなどの情報提供」となっている。